

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)

別添のとおり

4. 問題点の有無及び内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

5. 成分規格(試験法)修正要望内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

6. 参考資料等((別添してください。)

(1) 無

(2) 別添のとおり

(3) []月[]日頃までに提出

(4) その他 []

以上

検証試験成績書

品名(商品名)						
ロット番号	No.2					
成分規格名(収載名)	酵素分解カンゾウ					
試験年月日(試験場所)						
	試験省略(×)	試験結果 (実測値の出る項目 は実測値を記載)	忠実性の確認 (○×)	試験可否 (○×)	問題点 (有無)	判定 (適・不適)
性状		黄褐色の粉末	○	○	無	適
確認試験		対照液から得た2個のスポットと色調及びRf値が等しい	○	○	無	適
純度試験						
・重金属		適	○	○	無	適
・ヒ素		適	○	○	無	適
乾燥減量		4.5%	○	○	無	適
強熱残分		13.3%	○	○	無	適
定量法						
・グリチルチン酸3グルクロニド		18.2%	○	○	無	適
・グリチルリチン酸		31.2%	○	○	無	適
・構成比率		36.8%	○	○	無	適

第4版既存添加物自主規格の試験法に関する検証結果報告書

部会名	第一部会	会社名・所属			
氏名		TEL		Eメール	

1. 検証対象となる成分規格名及び検証試験実施の有無(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名(『フィチン酸(液体品)』のように記入)	検証実施	
		実施	省略
1	ブラジルカンノウ抽出物	○	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

2. 検証試験実施結果(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名	実施項目		実施区分			問題点
		全部	一部	新規	手持	外部	
1	ブラジルカンノウ抽出物		○		○		無
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)
別添のとおり
4. 問題点の有無及び内容(有の場合は別添してください。)
無
5. 成分規格(試験法)修正要望内容(有の場合は別添してください。)
無
6. 参考資料等((別添してください。))
(1) 無

以上

第4版既存添加物自主規格の試験法に関する検証結果報告書

部会名	第一部会	会社名・所属				
氏名		TEL		Eメール		

1. 検証対象となる成分規格名及び検証試験実施の有無(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名(『フィチン酸(液体品)』のように記入)	検証実施	
		実施	省略
1	オリゴ-N-アセチルグルコサミン	○	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

2. 検証試験実施結果(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名	実施項目		実施区分			問題点
		全部	一部	新規	手持	外部	
1	オリゴ-N-アセチルグルコサミン		○	○			無
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)
別添のとおり
4. 問題点の有無及び内容(有の場合は別添してください。)
無
5. 成分規格(試験法)修正要望内容(有の場合は別添してください。)
有
6. 参考資料等((別添してください。))
無

以上

検証試験成績書様式

検証試験成績書

品名(商品名)						
ロット番号	0807221					
成分規格名(収載名)	オリゴ-N-アセチルグルコサミン					
試験年月日(試験場所)						
	試験 省略 (×)	試験結果 (実測値の出る項目 は実測値を記載)	忠実性 の確認 (○×)	試験 可否 (○×)	問題 点 (有無)	判定 (適・ 不適)
性状		白色粉末、無臭、甘味あり	○	○	無	適
確認試験(1)		陽性	○	○	無	適
確認試験(2)		適	○	○	無	適
純度試験						
(1) 溶 状		無色、透明	○	○	無	適
(2) 塩化物		0.67 %	○	○	無	適
(3) 鉛	×					
(4) ヒ素	×					
乾燥減量		2.8 %	○	○	無	適
強熱残分		0.0 %	○	○	無	適
含 量		82.8 %	○	○	無	適

2008年12月15日

成分規格（試験法）修正要望

オリゴ・N・アセチルグコサミンの純度試験 塩化物の項について換算式中の
「0.3545mgCl」は「3.545mgCl」の誤りでした。

つきましては

「0.1mol/L 硝酸銀溶液 1ml=3.545mgCl」

への修正をお願いいたします。

以上

第4版既存添加物自主規格の試験法に関する検証結果報告書

部会名	第一部会	会社名・所属			
氏名		TEL		Eメール	

1. 検証対象となる成分規格名及び検証試験実施の有無(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名(『フィチン酸(液体品)』のように記入)	検証実施	
		実施	省略
1	レ-ラムノ-ス	○	無し
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

2. 検証試験実施結果(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名	実施項目		実施区分			問題点
		全部	一部	新規	手持	外部	
1	レ-ラムノ-ス	○			○		無
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)

別添のとおり

検証試験成績書様式 (赤文字は記入例)

検証試験成績書

品名(商品名)						
ロット番号	8F3					
成分規格名(収載名)	第4版既存添加物自主規格					
試験年月日(試験場所)						
	試験省略(×)	試験結果 (実測値の出る項目は実測値を記載)	忠実性の確認(○×)	試験可否(○×)	問題点(有無)	判定(適・不適)
性状		白色の結晶性で、わずかににおいがあり、味は甘かった。	○	○	無	適
確認試験		Rf値が等しかった。	○	○	無	適
純度試験						
(1)比旋光度		+8.0°	○	○	無	適
(2)溶状		無色、澄明	○	○	無	適
(3)塩化物		0.047%以下	○	○	無	適
(4)硫酸塩		0.048%以下	○	○	無	適
(5)重金属		10μg/g以下	○	○	無	適
(6)ヒ素		2.0μg/g以下	○	○	無	適
乾燥減量		0.00%以下	○	○	無	適
強熱残分		0.02%以下	○	○	無	適
含量		99.3%	○	○	無	適

第4版既存添加物自主規格の試験法に関する検証結果報告書

部会名		会社名・所属			
氏名		TEL		Eメール	

1. 検証対象となる成分規格名及び検証試験実施の有無(不足する場合は別添してください。)

	金	検証実施	
		実施	省略
1	金・・・純度試験(2)		○
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

2. 検証試験実施結果(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名	実施項目		実施区分			問題点
		全部	一部	新規	手持	外部	
1	金・・・純度試験(2) 銅Cuとして50 μ g/g以下					○	有
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)
別添のとおり

4. 問題点の有無及び内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

5. 成分規格(試験法)修正要望内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

6. 参考資料等(別添してください。)

(1) 無

(2) 別添のとおり

(3) []月[]日頃までに提出

(4) その他 []

以上

検証試験成績書様式

検証試験成績書

品名(商品名)						
ロット番号	241218(i)					
成分規格名(収載名)	金					
試験年月日(試験場所)						
	試験 省略 (×)	試験結果 (実測値の出る項目 は実測値を記載)	忠実性 の確認 (○×)	試験 可否 (○×)	問題 点 (有無)	判定 (適・ 不適)
性状		金色の柔らかい粉末、薄片又は塊で、無味 無臭である。	○	○	無	適
確認試験(1)		適合	○	○	無	適
確認試験(2)		適合	○	○	無	適
純度試験						
・ヒ素		5.0 μg/g以下	○	○	有	不適
・銅		18 μg/g	○	○	無	適
含量						
・金		95.4%	○	○	無	適
・銀		4.94%	○	○	無	適
微生物限度						
・細菌数	×					
・大腸菌	×					

部会名	2	会社名・所属			
氏名		TEL		Eメール	

成分規格（「自主規格第4版」）改正要望

1. 成分規格名（食品添加物名）

金

2. 改正項目

純度試験（2） Cuとして $50 \mu\text{g/g}$ 以下

3. 改正内容及び理由

①現行

本品約 0.2g を精密に量り金が溶けるまで王水を加え加熱して溶かす。塩化銀の沈殿物が生成したら完全に溶けるまで塩酸を加える。冷後、塩酸を加えて正確に 10ml とし、検液とする。別に原子吸光光度用銅標準原液 5ml を正確に量り、水を加えて正確に 50ml とし希釈標準原液とする。さらに、1ml, 2ml, 3ml 及び 4ml をそれぞれ正確に量り塩酸を加え正確に 100ml とし、標準液とする。検液及び標準液につき次の条件で原子吸光光度法より試験を行い標準液の吸光度から得た検量線を用いて検液中の銅の量を求める。

使用ガス：可燃性ガス アセチレン

支燃性ガス 空気

ランプ：銅中空陰極ランプ

波長：324.8nm

②改正案

本品約 0.2g を精密に量り金が溶けるまで王水を加え加熱して溶かす。塩化銀の沈殿物が生成したら完全に溶けるまで塩酸を加える。冷後、塩酸を加えて正確に 10ml とし、検液とする。別に原子吸光光度用銅標準原液（Cu:1,000mg/L）5ml を正確に量り、水を加えて正確に 50ml とする。さらに、1ml を正確に量り塩酸を加え正確に 100ml とし、標準液とする。検液及び標準液につき次の条件で原子吸光光度法より試験を行い、検液から得られる吸光度は標準液から得られる吸光度を超えない。

使用ガス：可燃性ガス アセチレン

支燃性ガス 空気

ランプ：銅中空陰極ランプ

波長：324.8nm

③理由

検量線の方が、検液の濃度よりも濃いこと及び規格値以下かどうかの判定を行うため、検量線を使う必要がないため。

4. 改正案に関わる検討結果

別紙のとおり・・・外部分析機関からの測定方法指導資料。

以上

ファクシミリ送信ご案内

2008年12月26日

件名:	
金箔と銀箔の純度試験について	
枚数	2 枚(本葉を含む)
発信者	
(社)日本油料検定協会 総合分析センター 池田	TEL 078-841-4931 FAX 078-822-0530

いつもお世話になりましてありがとうございます。
下記について、よろしく願い申し上げます。

記

金箔の純度試験(2)銅について

規格値以下かどうかの判定であれば「標準溶液1ppmから得られる吸光度を超えない」とすれば検量線を使う必要はありません。ただ、実測値が知りたい場合は検量線が必要になります。標準溶液の濃度や点数は任意となり銅含有量によって異なります。たとえば、規格値以下が予想される場合は0.25ppm、0.5ppm、0.75ppm、1ppmの標準液で検量線を引くと良いでしょう。規格値を超えるかも知れない場合は、0.5ppm、1ppm、1.5ppm、2ppm等の標準液を用いても良いでしょう。

銀箔の純度試験(2)銅塩について

「以下試料溶液の試験と同様に操作する。」というのは純度試験(2)銅塩の3行目「酢酸アンモニウム溶液(1→4) 2mL」の前から操作することになります。また、比較液に用いる銅標準液の濃度は10ppm=10 μ g/mLです。

よって、銅標準液5.0mLは銅50 μ gになります。本品1.0g相当量で試験していますので、50 μ g/1.0g=0.005%。比較液より濃くなければ0.005%以下となります。

(3)鉄塩に用いる鉄標準液の濃度についても同様に10ppm=10 μ g/mLです。本品0.5g相当量で試験していますので25 μ g/0.5g=0.005%。

以上

第4版既存添加物自主規格の試験法に関する検証結果報告書

部会名	第二部会	会社名・所属			
氏名		TEL		Eメール	

1. 検証対象となる成分規格名及び検証試験実施の有無(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名『フィチン酸(液体品)』のように記入)	検証実施	
		実施	省略
1	アカダイコン色素	○	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

2. 検証試験実施結果(不足する場合は別添してください。)

	成分規格名	実施項目		実施区分			問題点
		全部	一部	新規	手持	外部	
1	アカダイコン色素	○				○	無
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

3. 検証試験成績書(別紙様式にて作成の上、別添してください。)

別添のとおり

4. 問題点の有無及び内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

5. 成分規格(試験法)修正要望内容(有の場合は別添してください。)

無

有(別添のとおり)

6. 参考資料等(別添してください。)

① 無

② 別添のとおり

③ []月[]日頃までに提出

④ その他 [

]

以上